

コロナ禍における日本人の国内旅行実態調査まとめ① ～コロナ禍前後の旅行の比較～

2022年6月20日



株式会社 JTB 総合研究所

○調査概要

○調査結果

【事前調査】

1. 2019年～2021年9月までの旅行実施率（旅行頻度別）

【本調査】

2. コロナ禍の旅行動向
3. 旅行における情報源・商品購入先について
4. コロナ禍の非旅行実施者の気持ち
5. コロナ禍の旅行実施者の気持ち

1

調査背景 および 調査目的

- コロナ禍前後の具体的な旅行実態を比較するための調査
- 当初、2020年2月から実施している定点調査「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化と旅行に関する意識調査」でコロナ禍をきっかけとした旅行のあり方やスタイルの変化を中長期的な視野で把握し、今後の変化のキーワードを考察する予定だったが、コロナ禍が長引き、感染拡大を何度も繰り返すことになったため、定点調査自体が新型コロナの感染状況と足元の意識の把握にシフトせざるを得なくなっていった。このため、国内旅行の中長期的な傾向の把握は本調査にて行う。
- 2019年に実施した「「進化し領域を拡大する日本人の国内旅行(2019)」調査では、旅行スタイルの変化のキーワードとして、「異日常型（関心・共感）」「個人の価値観や志向が反映」「地域の生活エリアでの交流・人との触れ合い」があがっていたが、コロナ禍でニューノーマルな旅行が広がり、「非日常型（旅行自体が目的）」「ストレスの多い日常からの解放」「旅先の地域住民との接点を避ける」といったコロナ禍前と逆行したような行動や意識が見られていた。今後も定点調査で、その後の変化を追い、新型コロナ収束後の観光活性化に必要なエッセンスを旅行者の側から考察する。
- 中長期的な観点に立ち、新型コロナ収束後の国内旅行マーケットの方向性ととも、今後の新たな動きとして、観光客に限らない関係人口の影響や価値観・意識や消費の変化についても把握し、今後の国内旅行の形態の兆しを探る。

2

調査手法・実施期間

- インターネットアンケート調査
- 2021年10月6日～12日に実施

3

調査対象者

事前調査

本調査

- 全国15歳以上79歳までの男女個人 **20,000サンプル**
- 事前調査で、「2019年～2021年9月に国内旅行に行った」と回答した人 **2,016サンプル**
* 直近（最後）の旅行時期および性年代別での均等割付

4

主な 調査項目

予備調査

本調査

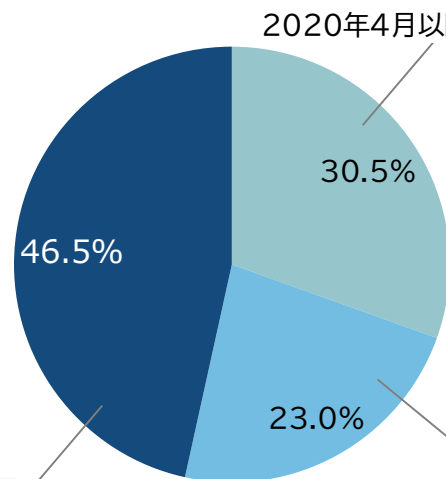
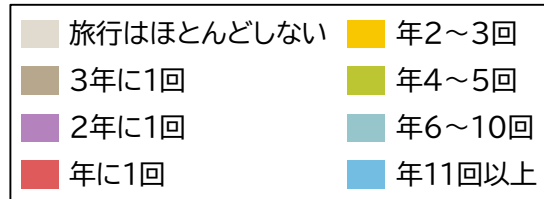
- 旅行実施率、今後の旅行予定
- 日常生活における意識や行動、気持ち
- 二拠点生活・多拠点生活 など
- 直近の旅行内容
- 今後の旅行についての関心、価値観
- デジタルツールの利用・情報収集 など



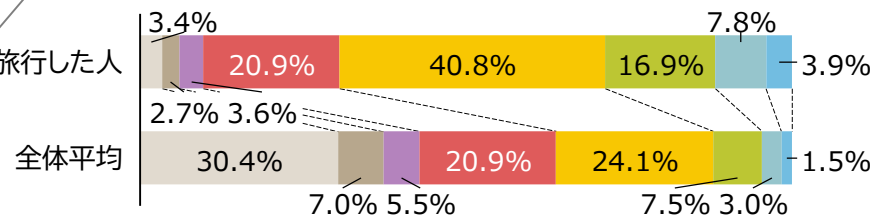
- 直近の旅行時期について「2020年4月以降（コロナ禍）」が30.5%、コロナ禍前（2019年～2020年3月）に旅行したが、コロナ禍には旅行していない人は23.0%
- コロナ禍での旅行経験のある人は、コロナ禍以前の旅行頻度がもともと高い
 - ✓ コロナ禍（2020年4月以降）に旅行している人の旅行頻度は「年2～3回」が40.8%と最も多く、それ以上の頻度を含めると69.4%と7割に上る
 - ✓ 最後の旅行がコロナ禍前の2019年～2020年3月までの人で最も多いのは「年2～3回（36.1%）」、次いで「年に1回（35.0%）」とほぼ同率

N=20,000(単一回答)

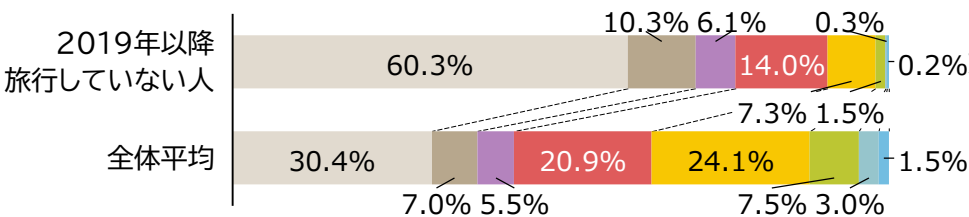
【国内旅行の頻度について】



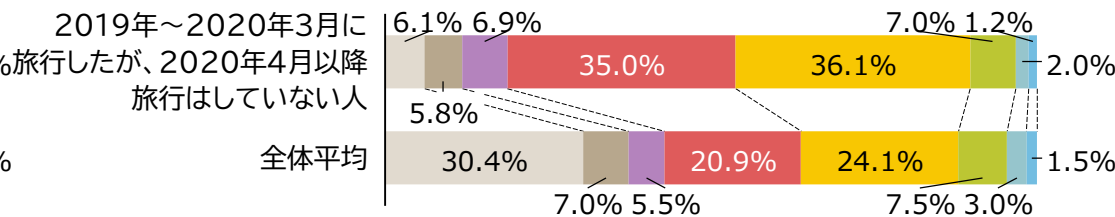
コロナ禍(2020年4月以降)に旅行した人(6096)



2019年以降旅行していない人(9309)

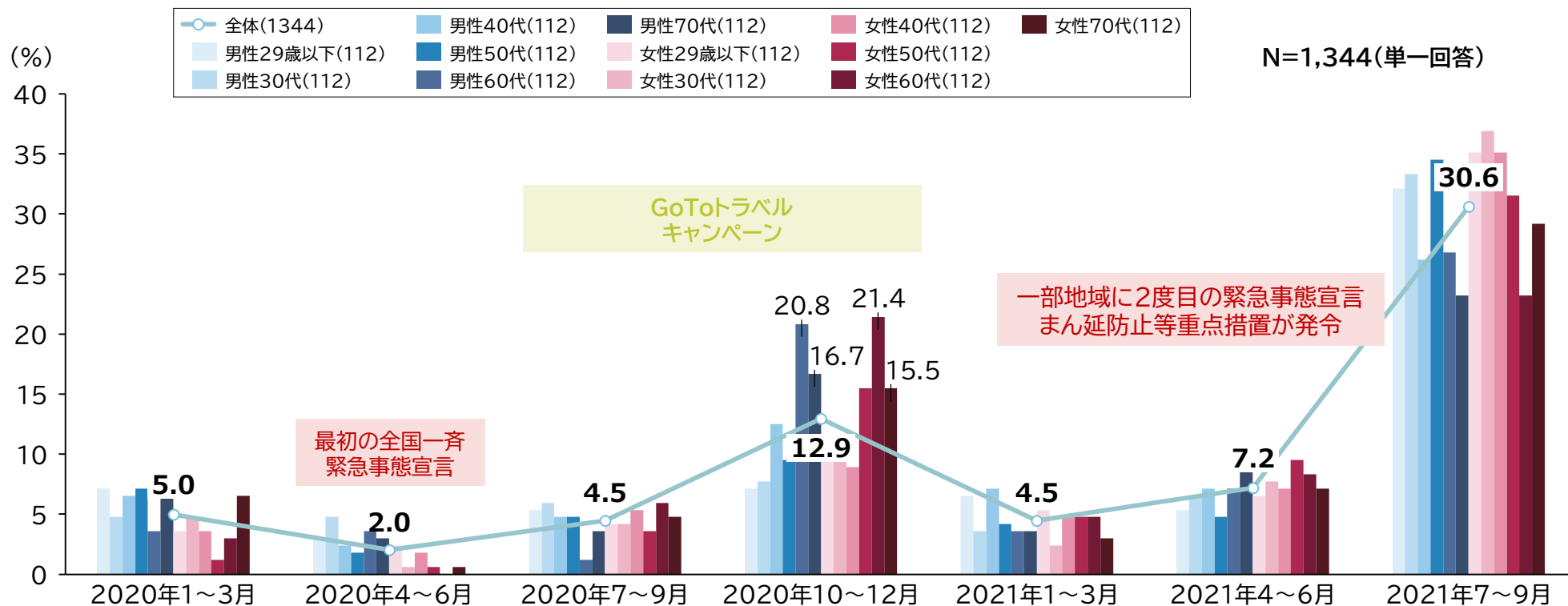


コロナ禍前(2019年～2020年3月)に旅行したが、コロナ禍(2020年4月以降)には旅行していない人(4595)



直近（最後）の旅行時期（2020年1月以降旅行実施者／性年代別）

■ **2021年の前半は、大半の期間が多くの地域で2度目の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるも、直近の旅行は2021年の方が2020年より多くなった。2021年7～9月が直近の旅行と答えた人は30.6%**

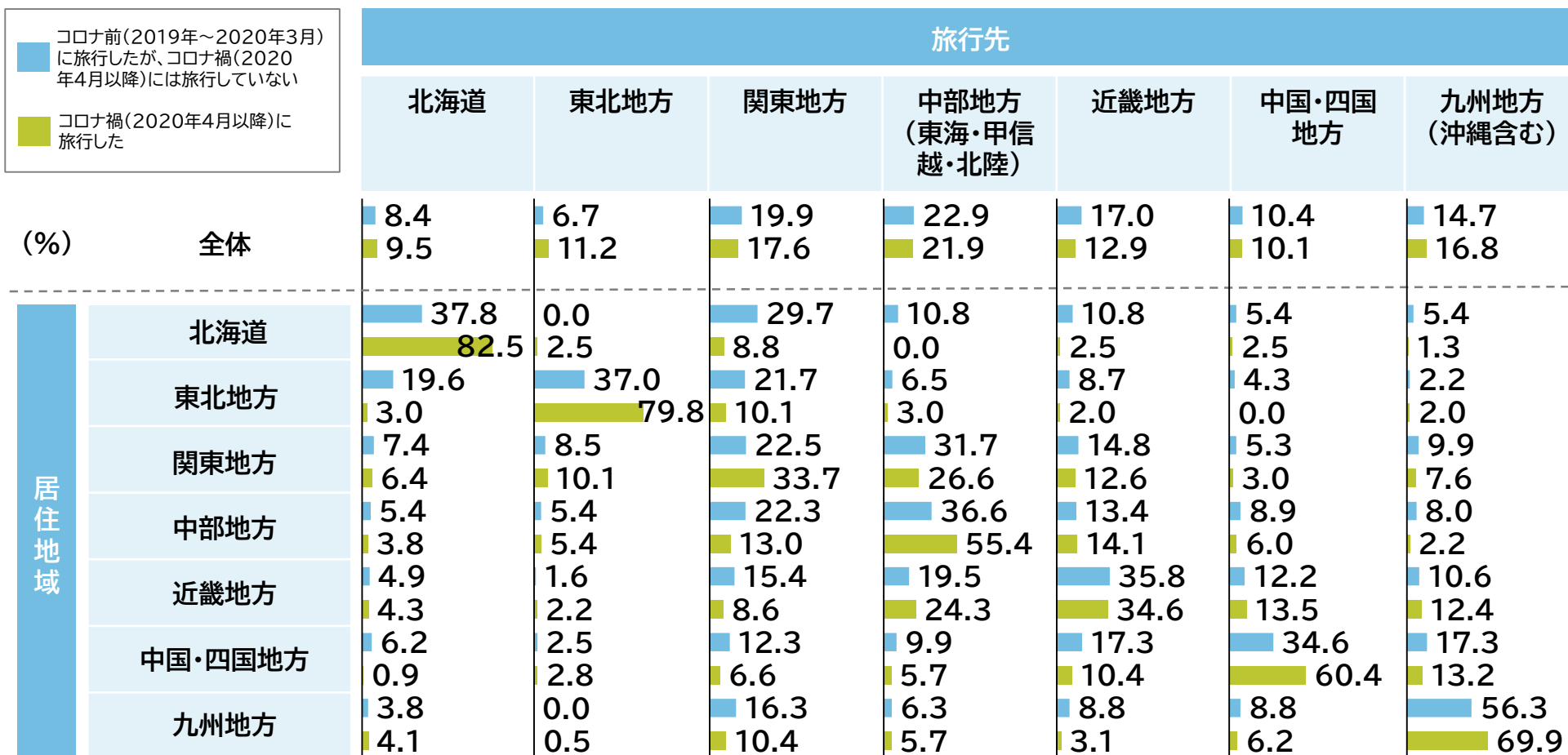


2. コロナ禍の旅行動向 直近の旅行先×居住地（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ コロナ禍(2020年4月以降)の旅行者は、居住地域内での旅行の割合が高い、特に北海道、東北、九州

- ✓ コロナ禍（2020年4月以降）の旅行者において、居住地域内旅行の傾向は、特に北海道(82.5%)、東北地方(79.8%)、九州(69.9%)で高く見られる。コロナ前（2020年3月以前）の旅行者と比較すると、北海道は44.7ポイント増、東北地方は42.8ポイント増と増加幅が大きい
- ✓ 一方でコロナ禍における関東地方、近畿地方を居住地とする旅行者の居住地域内旅行は、関東地方（33.7%）、近畿地方(34.6%)と他地域に比べ小さく、各地への分散傾向がみられる

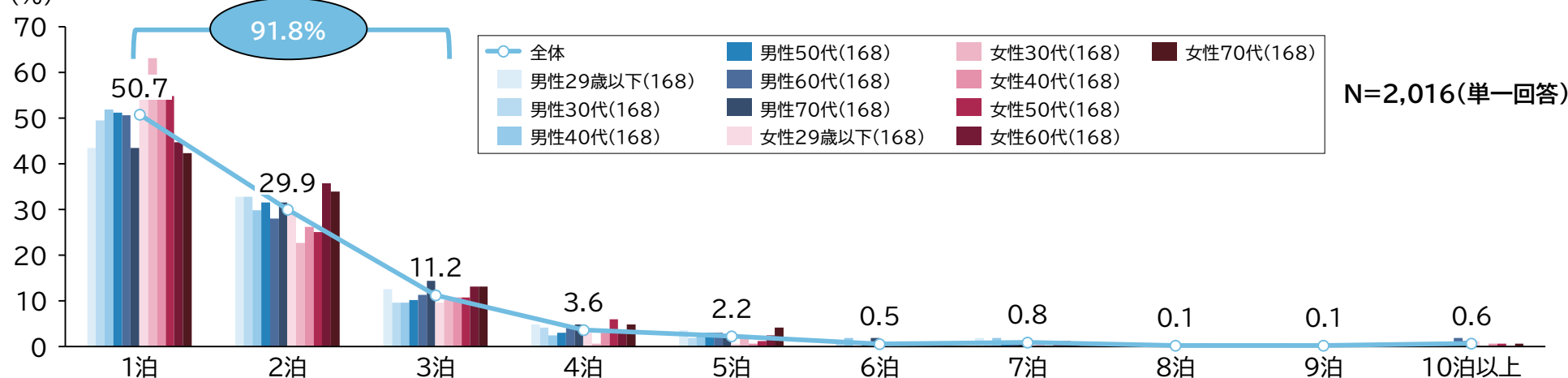
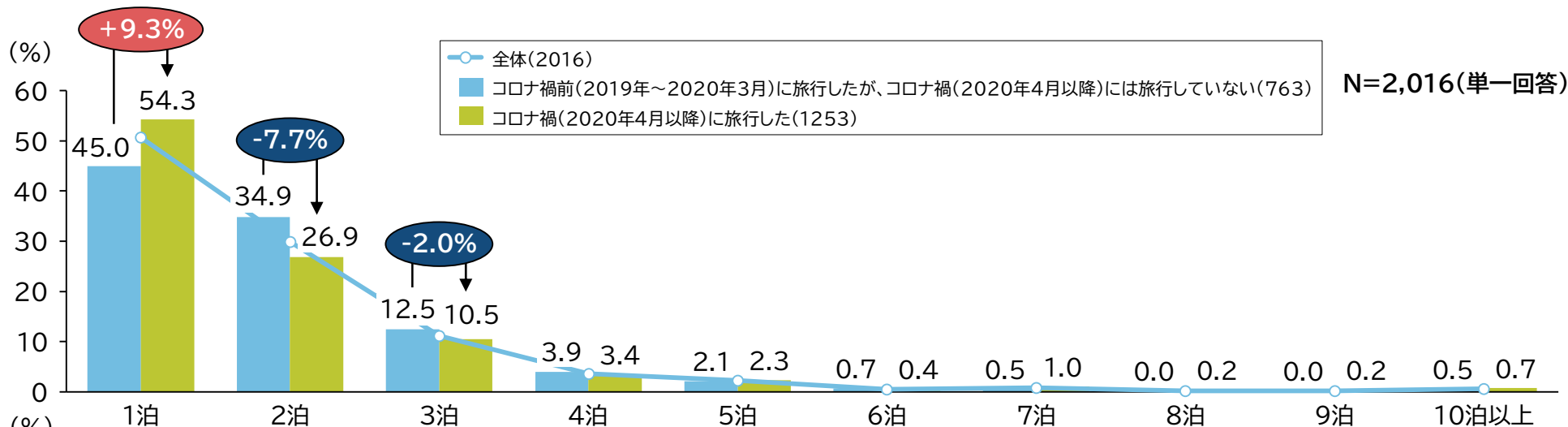
N=2,016(単一回答)



2. コロナ禍の旅行動向 直近の旅行日数（コロナ禍前後の旅行の比較／全体の性年代別）

■ コロナ禍（2020年4月以降）の旅行者は、旅行期間が短縮傾向

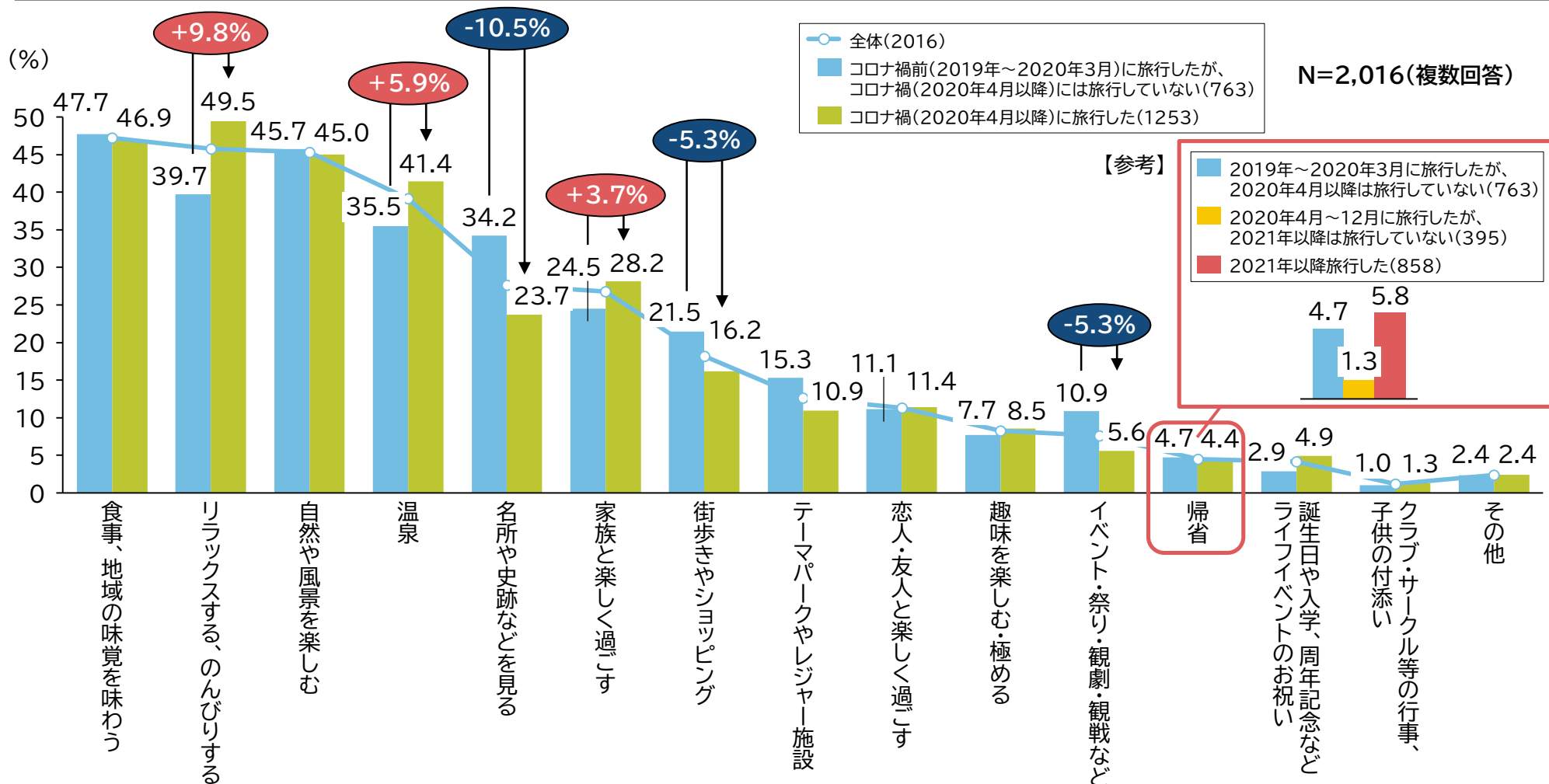
- ✓ コロナ禍では1泊が過半数を占め、3泊以内が全体の9割以上を占める
- ✓ 本調査全体としての性年代別では、2泊以上は女性60代・70代が平均より高い



2. コロナ禍の旅行動向 直近の旅行の理由（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ コロナ禍の旅行では、何かを觀たり、どこかに行くことより、リラックスすることや温泉、家族と楽しく過ごすことがコロナ禍前より高い

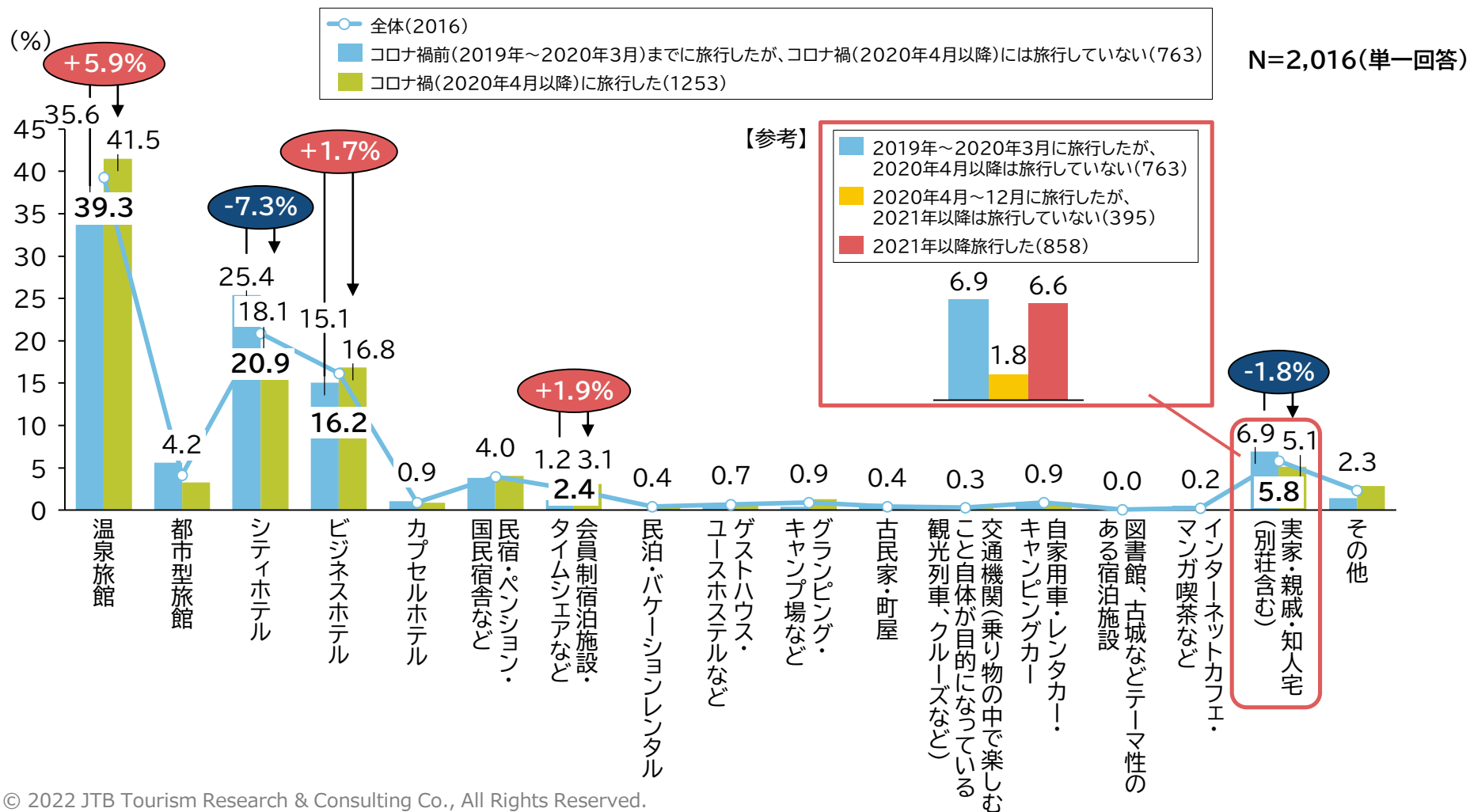
- ✓ 「リラックスする、のんびりする」がコロナ前に比べて9.8ポイント高く、「温泉」が5.9ポイント増、「家族と楽しく過ごす」3.7ポイント高い
- ✓ 一方で「名所や史跡などを見る」が10.5ポイント低く、「街歩きやショッピング」・「イベント・祭り・観劇・観戦など」は5.3ポイント低い
- ✓ 特に「帰省」に関して、細分化してみると、コロナ禍前（2019年～2020年3月）が4.7%、2020年4月～12月の旅行者では1.3%に対し、2021年以降の旅行者では5.8%であった。コロナ禍初期の不安感が強い時期は、感染症対策の観点から自粛していたことがわかる



2. コロナ禍の旅行動向 直近の旅行利用宿泊施設（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ コロナ禍の旅行者が利用する宿泊施設は、「温泉旅館」、「シティホテル」、「ビジネスホテル」が多い。

✓ コロナ禍前と比較し、温泉旅館はコロナ禍では高く、シティホテルはコロナ禍では低く7.3ポイントの差



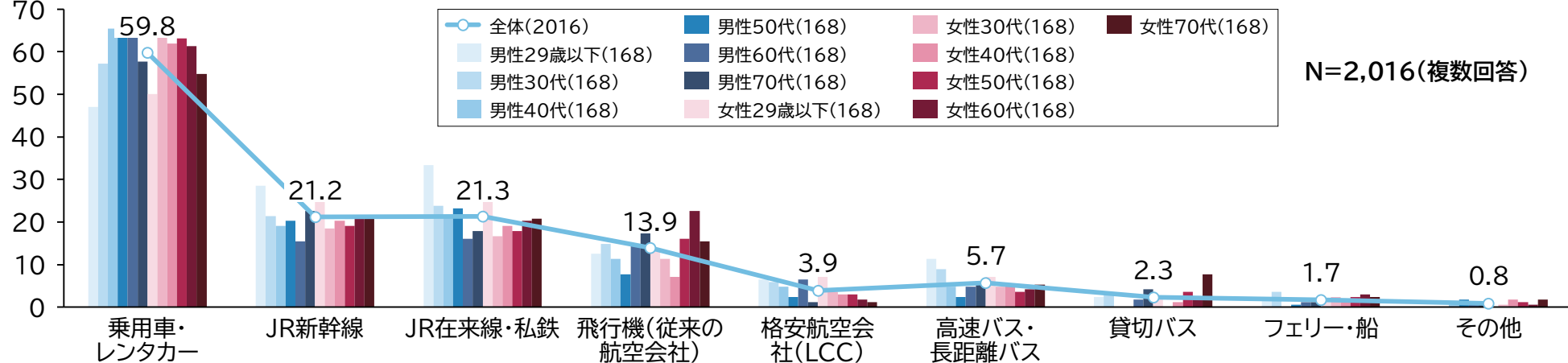
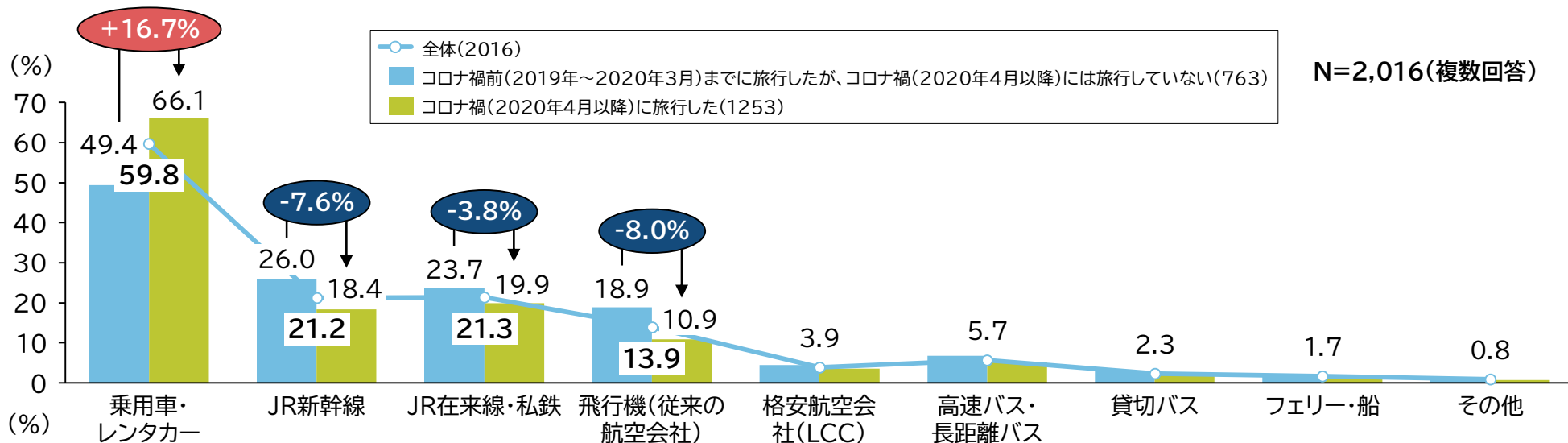
2. コロナ禍の旅行動向

直近の旅行利用交通機関（全体の性年代別／コロナ禍前後の旅行の比較）



■ コロナ禍の旅行者は、コロナ禍前の旅行者に比べ「乗用車・レンタカー」の利用が大幅に増加、鉄道・航空機などの公共交通は減少

- ✓ 上位から「乗用車・レンタカー」、「JR新幹線」、「JR在来線・私鉄」。コロナ禍（2020年4月以降）の旅行者はコロナ前（2019年～2020年3月）の旅行者に比べ、「乗用車・レンタカー」は16.7ポイント高い
- ✓ 「JR新幹線」は7.6ポイント、「JR在来線・私鉄」は3.8ポイント、「飛行機（従来の航空会社）」は8.0ポイント低くなり、感染症対策として、他人との接触をさけるため、公共交通を避け「乗用車・レンタカー」を選択する人が増えたと考えられる

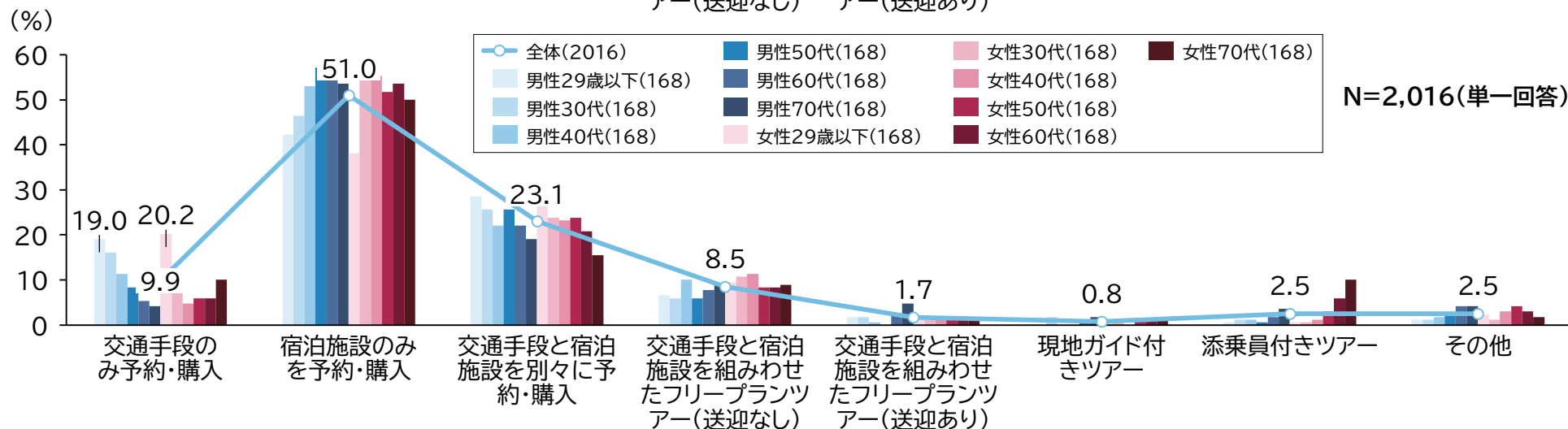
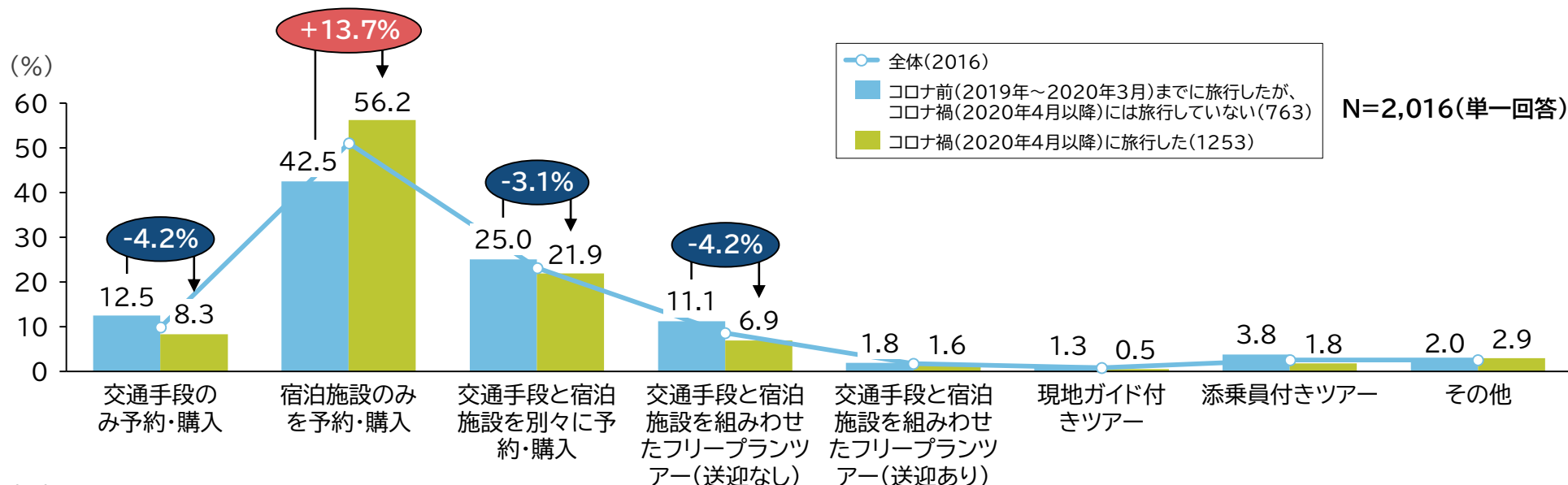


2. コロナ禍の旅行動向

直近の旅行商品（コロナ禍前後の旅行の比較／全体の性年代別）



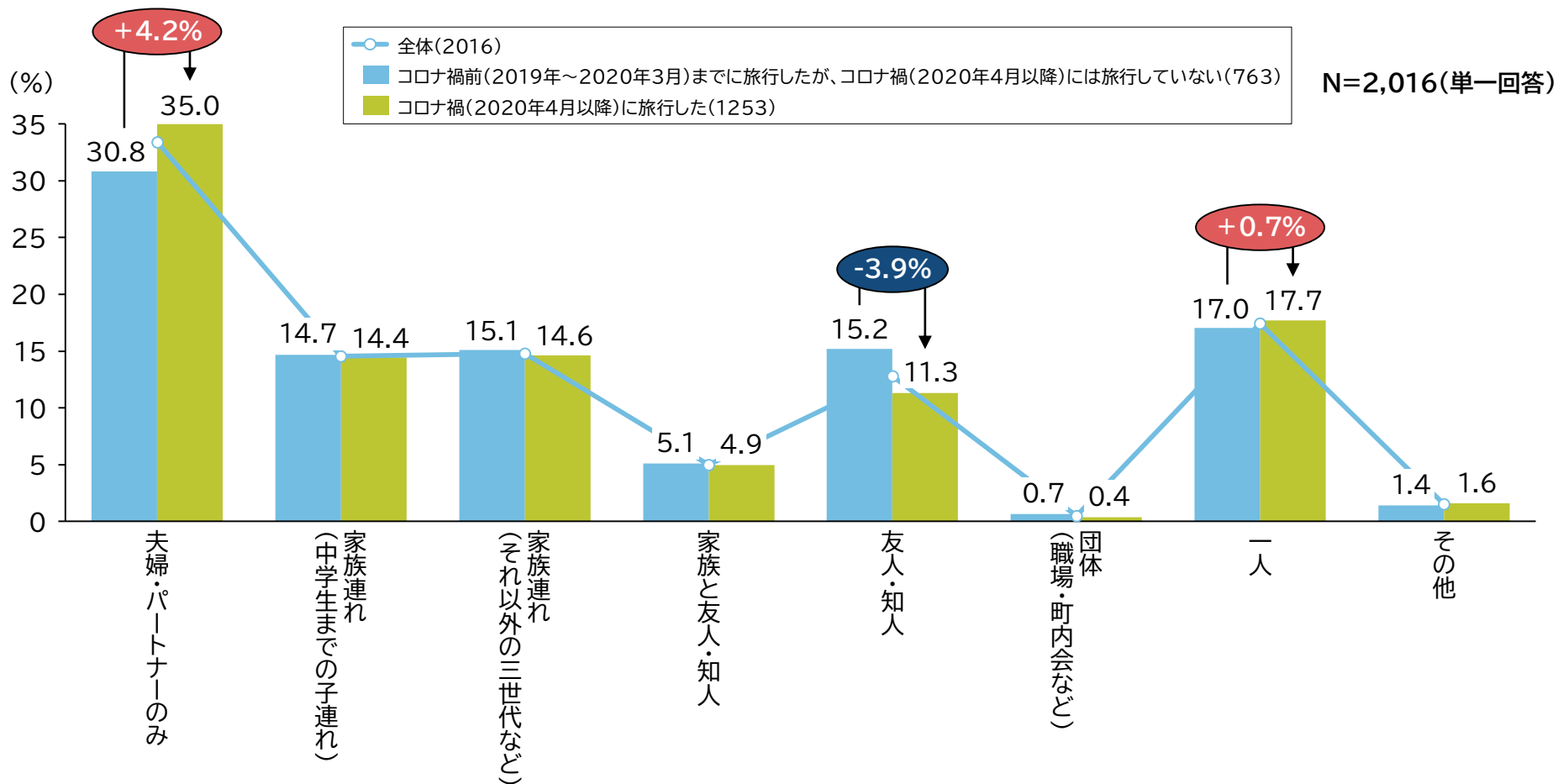
■ コロナ禍の旅行者は、「宿泊施設のみを予約・購入」、「交通手段をと宿泊施設を別々に予約・購入」の割合が高い



2. コロナ禍の旅行動向 直近の旅行同行者（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ コロナ禍(2020年4月以降)の旅行同行者は、「夫婦・パートナーのみ」、「一人で」など、少人数の割合が高い

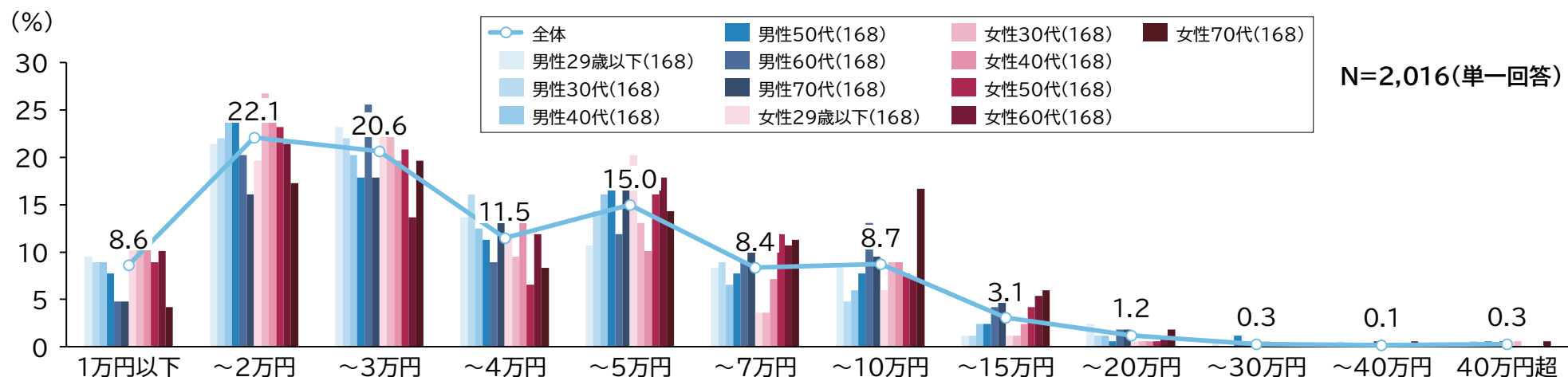
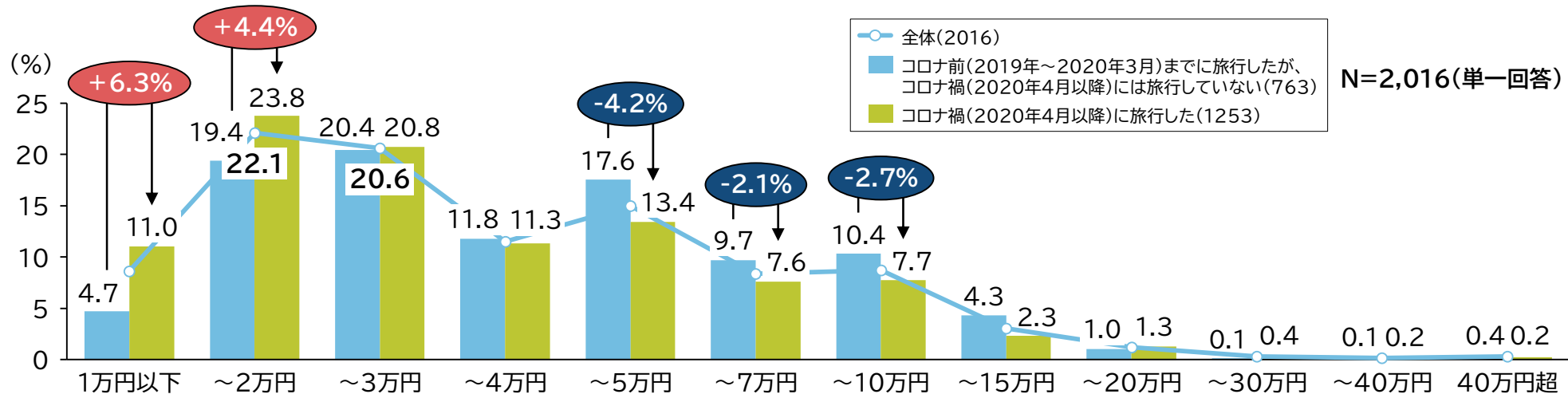
- ✓ コロナ禍以降の旅行者は、コロナ禍前と比較すると「夫婦・パートナーのみ」が4.2ポイント、「一人で」は0.7ポイント高くなった
- ✓ 逆に人数の多い「家族づれ（それ以外の三世代など）」や、家族以外と行く「友人・知人」、「家族と友人・知人」は割合が下がっていた。感染症対策として、身近な人と少人数での旅行を実施していた様子が見えらる



2. コロナ禍の旅行動向 直近の旅行費用（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ **コロナ禍(2020年4月以降)の旅行者の旅行費用は、上位から「1万円～2万円」22.1%、「2万～3万」20.6%で、予算が低下傾向**

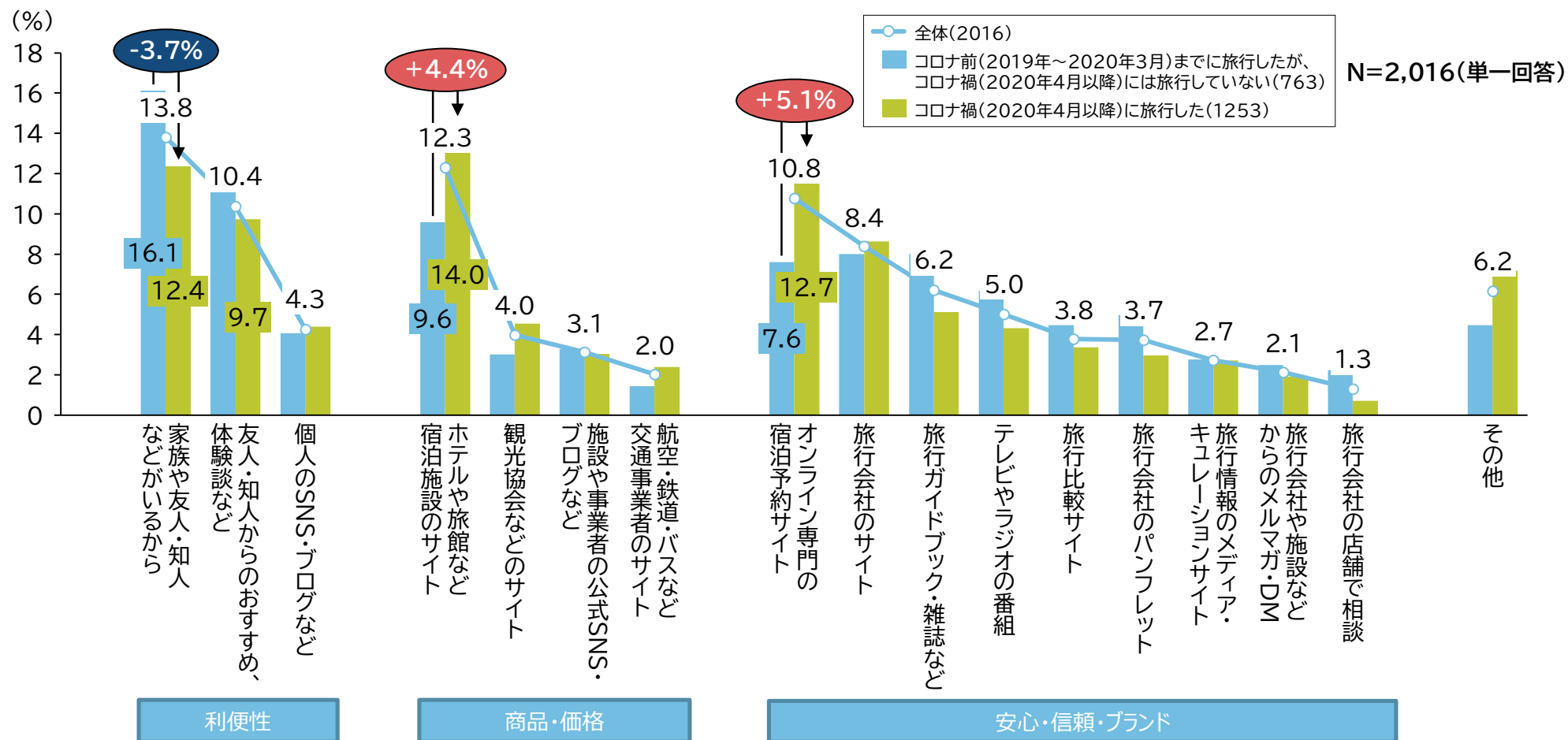
- ✓ コロナ禍に旅行した人では、3万円以下が高くなり、4万円以上が低くなった
- ✓ 感染症対策による旅行の安近短の傾向から、予算が低くなった傾向がみられる



3.旅行における情報源・商品購入先について 直近の旅行の最初のきっかけ（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ コロナ禍の旅行のきっかけは、上位から「ホテルや旅館など宿泊施設のサイト」、「オンライン専門の宿泊予約サイト」、「家族や友人・知人などがいるから」

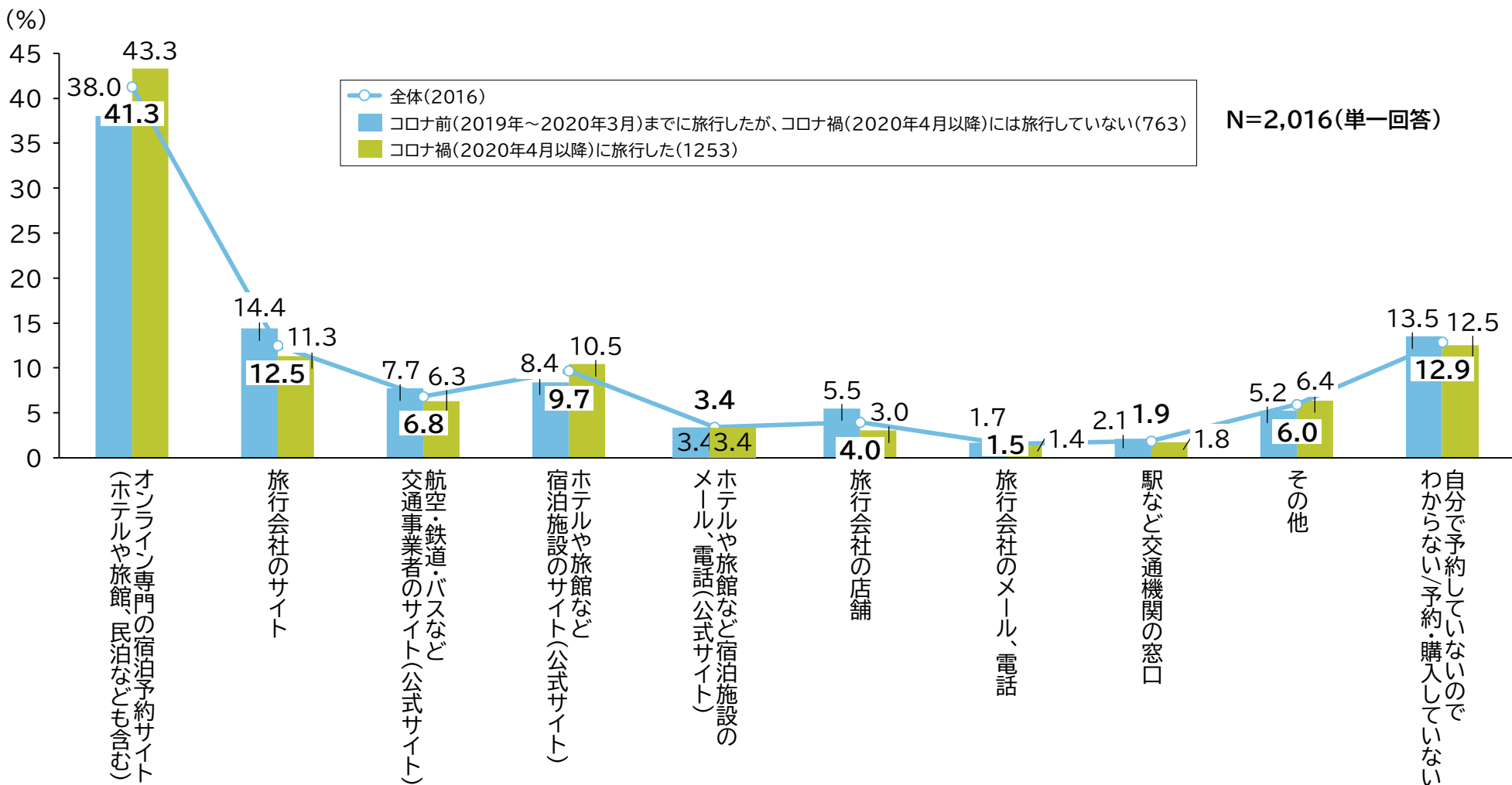
- ✓ 「家族や友人・知人などがいるから」はコロナ禍前（2019年～2020年3月）までの旅行者には最も多いきっかけであったが、コロナ禍（2020年4月以降）の旅行者では3.7ポイント低く、3番目のきっかけとなった。同じく「友人・知人からのおすすめ、体験談など」も2番目から4番目になった
- ✓ 「ホテルや旅館など宿泊施設のサイト」は4.4ポイント高くなり、コロナ禍の旅行者に最も多いきっかけに。「オンライン専門の予約サイト」は5.1ポイント高く2番目となった
- ✓ 【安心・信頼・ブランド】ではサイトが上位にあるものの、「旅行ガイドブック・雑誌」や「テレビやラジオの番組」も一定の割合を占めた。一方で「旅行会社の店舗で相談」はコロナ禍以降の旅行者において、最も低い結果となった



3.旅行における情報源・商品購入先について 直近の旅行予約方法（コロナ禍前後の旅行の比較）

■ コロナ禍前、コロナ禍とも「オンライン専門の宿泊予約サイト」、「旅行会社のサイト」、「ホテルや旅館など宿泊施設の公式サイト」の利用が多い

- ✓ コロナ禍（2020年4月以降）の旅行者はコロナ禍前の旅行者に比べ「オンライン専門の宿泊予約サイト」をより活用するようになっている
- ✓ 一方、「旅行会社の店舗」「駅などの交通機関の窓口」などリアル・直接対応はコロナ禍で低くなった



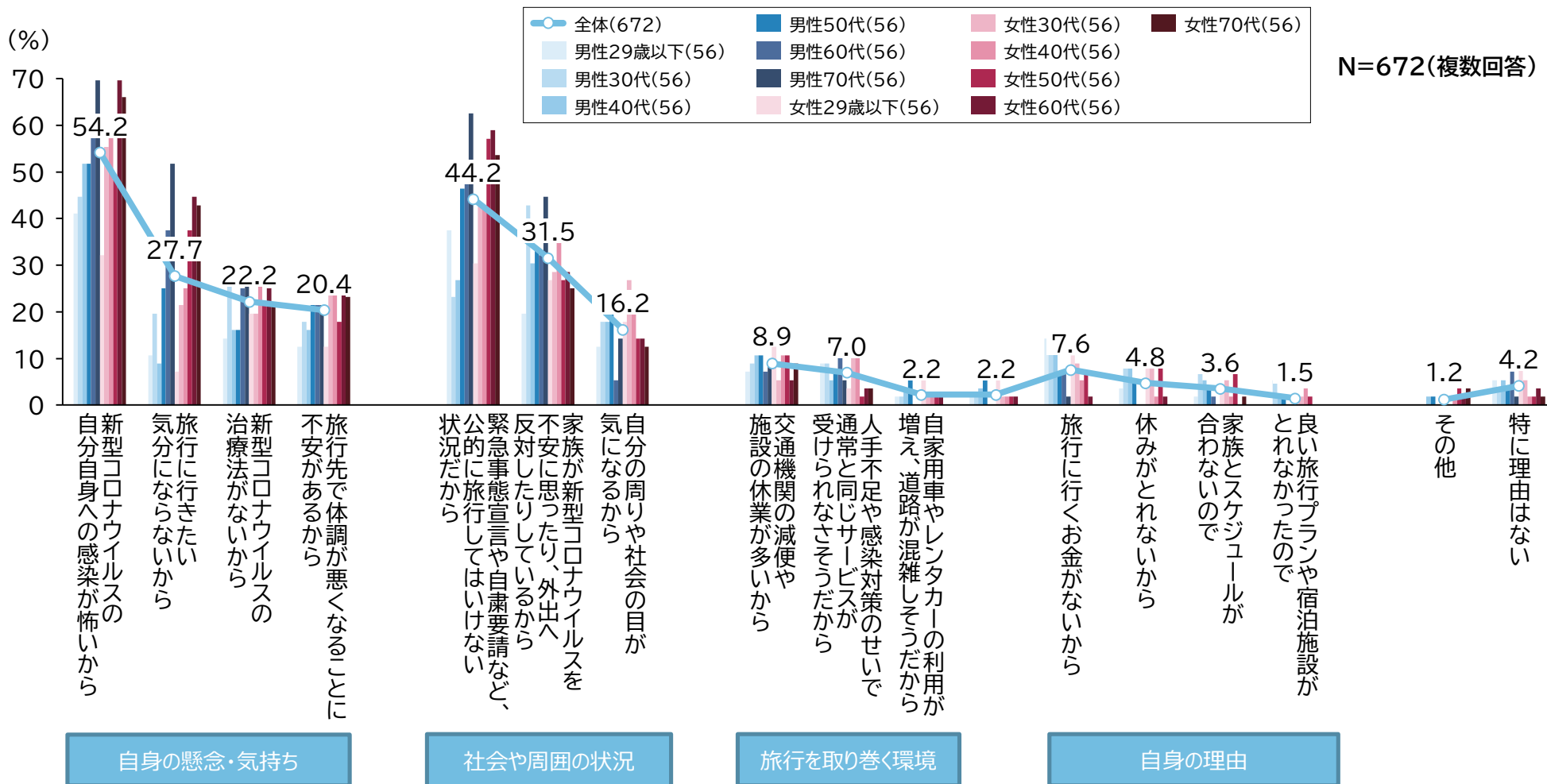
4. コロナ禍になって旅行に行かない人の気持ち

コロナ禍以降旅行していない理由について（2019年が最後の旅行実施者）



■ 上位から「自分自身への感染が怖いから」、「緊急事態宣言や行政による自粛要請など、公的に旅行してはいけない状況だから」、「家族が不安に思ったり、外出へ反対したりしているから」、「旅行に行きたいという気分にならないから」

✓ 男女60代・70代は「自分自身への感染が怖いから」、「緊急事態宣言や行政による自粛要請など、公的に旅行してはいけない状況だから」、「旅行に行きたいという気分にならないから」が高い割合となった



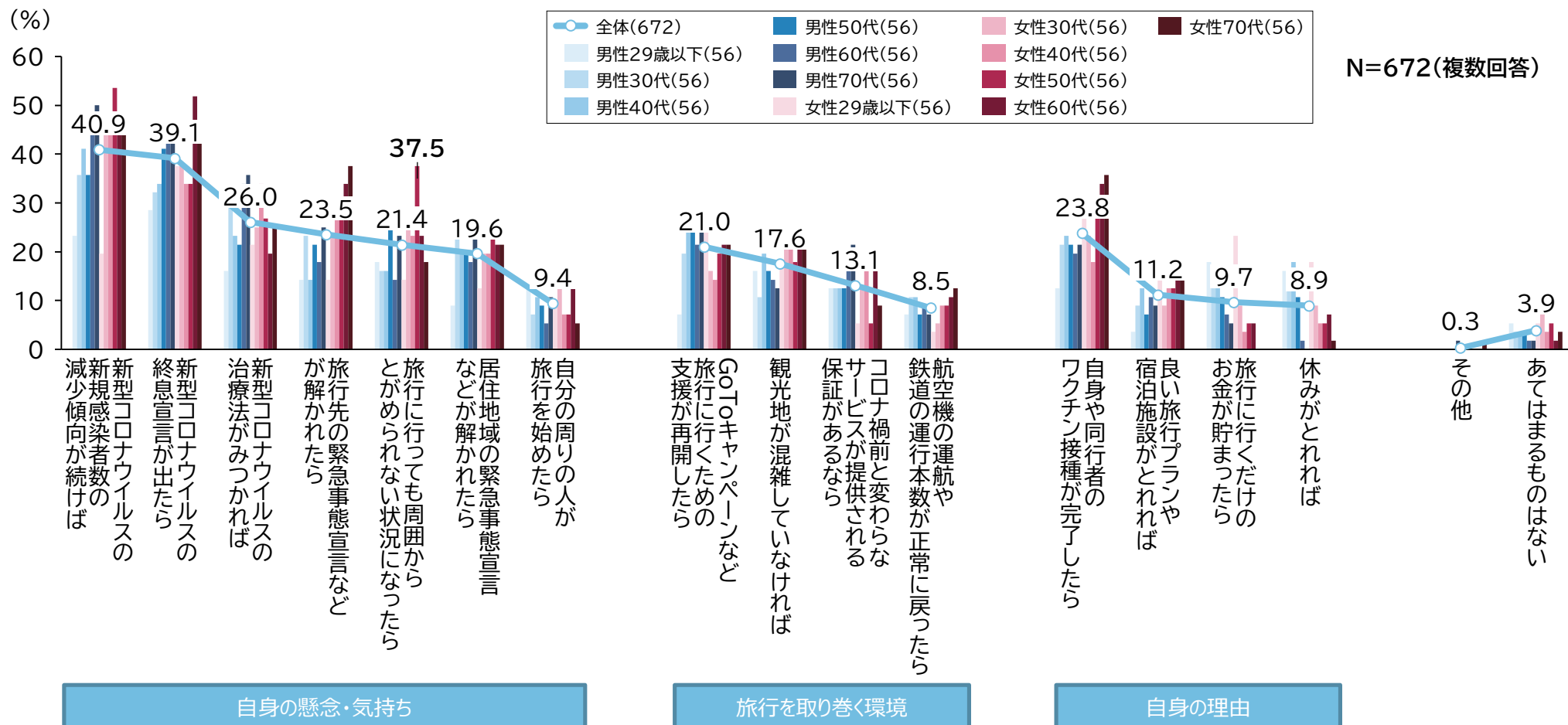
4. コロナ禍になって旅行に行かない人の気持ち

どのような状況になれば旅行を再開するか（2019年が最後の旅行実施者）



■ 上位から「新規感染者数の減少傾向が続けば」、「終息宣言が出たら」、「治療法がみつければ」、「自身や同行者のワクチン接種が完了したら」など、自身や同行者が安心して旅行できる状況を求めている

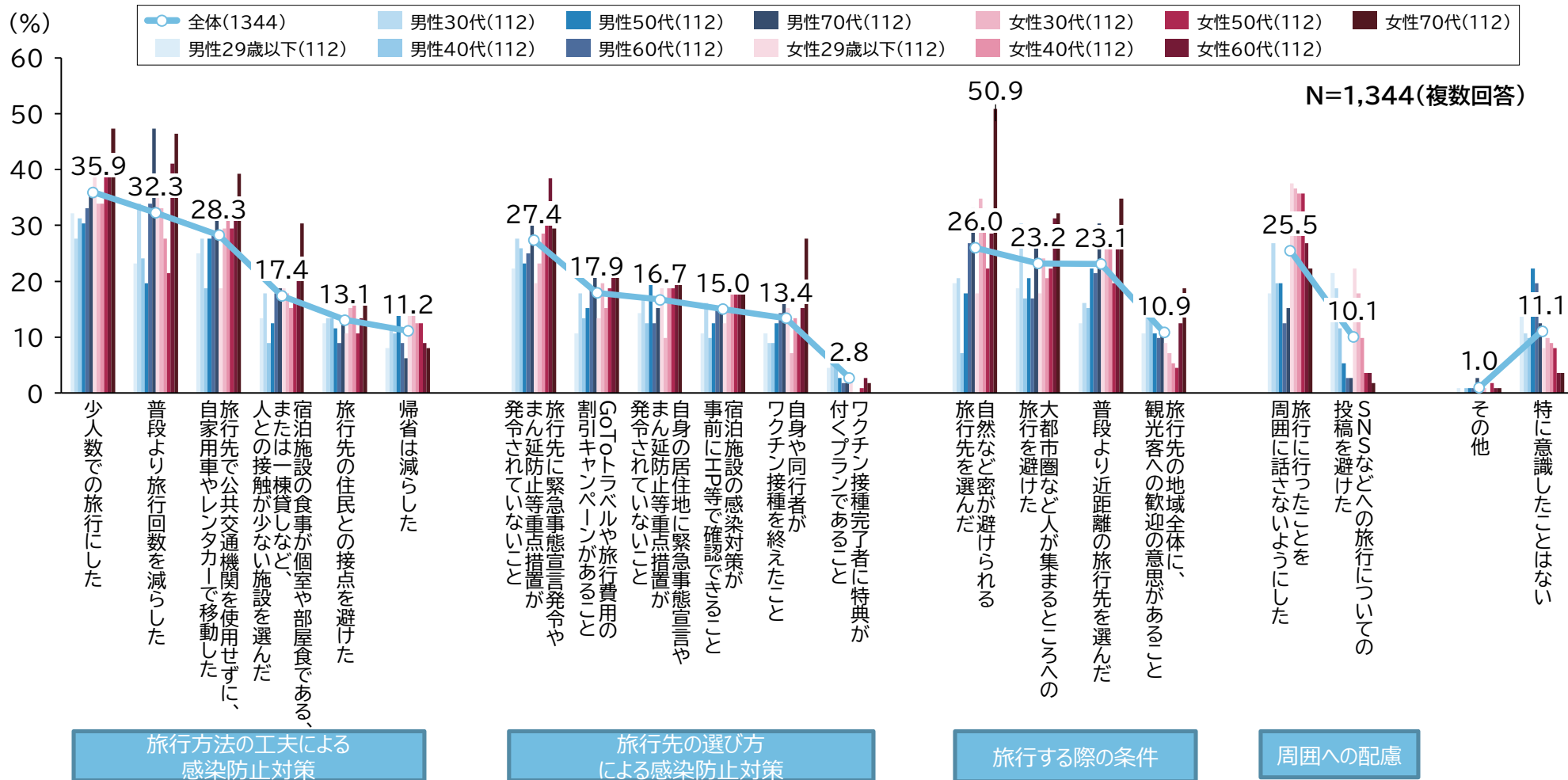
- ✓ 居住地の「緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令状況」よりも、旅行先の状況を気にしている傾向がみられた
- ✓ 「旅行に行っても周囲からとがめられない状況になったら」は女性50代が最も高い37.5%であった



5. コロナ禍でも旅行をした人の気持ち コロナ禍の旅行で意識したこと（2020年1月以降旅行実施者）

■ 全体的に男性に比べ女性は「旅行に行ったことを周囲に話さないようにした」が高く、特に女性29歳以下～50代においては30%を超えていた

- ✓ 「SNSなど旅行についての投稿を避けた」は男女29歳以下・30代で高く、周囲からどう見られるかを気にする傾向が強い
- ✓ 男女70代は、「普段より旅行回数を減らした」「普段より近距離の旅行先を選んだ」「自然など密が避けられる旅行先を選んだ」「公共交通機関を使用せず、自家用車やレンタカーで移動した」などが他の世代より高く、感染症対策を重視していたと考えられる

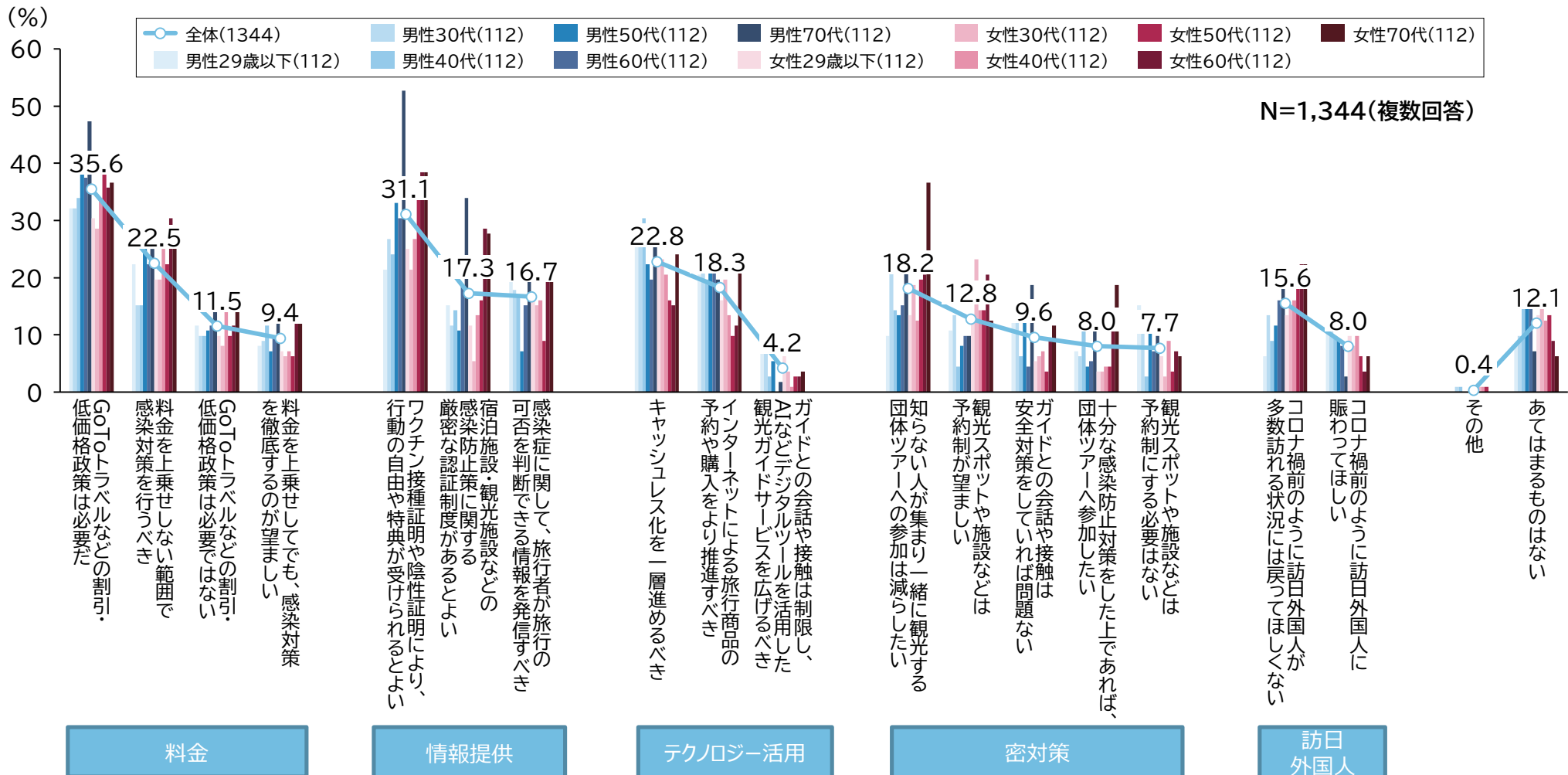


5. コロナ禍でも旅行をした人の気持ち

コロナ禍の旅行を経験して、今後自由な移動が可能になった場合どのような旅行が行われるべきか（2020年1月以降旅行実施者）

■ 「GoToトラベルなどの割引・低価格政策は必要だ」、「ワクチン接種証明や陰性証明により行動の自由や特典が受けられるとよい」、「キャッシュレス化を一層進めるべき」が上位

✓ 密対策としては、「知らない人が集まり一緒に観光する団体ツアーの参加は減らしたい(18.2%)」、「観光スポットや施設などは予約性が望ましい(12.8%)」などが高い割合となった。また「コロナ禍前のように訪日外国人が多数訪れる状況に戻ってほしくない(15.6%)」など、知らない人と接することや混雑した場所を避けたい意向が高くみられた





本調査レポートに関するお問い合わせ先

JTB総合研究所

本調査レポート編集担当：中尾・牧野・波瀾

contact@tourism.jp

<https://www.tourism.jp/>